

生涯青春

4年振りベスト4 終盤に逆転

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 合計 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 入船鋼材 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 5 |
| 根津鋼材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 | × | 8 |

▼上原のツーランHRで一気に追い上げムードに



◆ベスト4チーム◆

根津鋼材(過去優勝2回)
ニッコー
古賀オール
技研製作所

科学的に野球に流れというものはないと先日テレビでやっていた。それでも自分は野球に流れは有ると思う。今回の試合でもミスで失点はしたが一場・来須バッテリーが最少失点でピンチを切り抜け、ミスした選手が率先して声を出す。一点ずつ行こうという声掛けと根津社長からの「楽しんで行けよ！」の声援で少しずつ勝利の女神が根津鋼材にすり寄ってきた。

仕事でも悪い事が続く事がよく有る。でもその後にはいい事が続く事もよく有る。続く準決勝はどっちのチームが流れを勝利に結びつけられるか。

野球の流れ・・・

4年振りの優勝に向け、本大会最多優勝3回の入船鋼材様との対戦が3回戦となった。試合は3回にレフト前島の後逸で1点を先制される。相手先発投手を中々捉え切れない中、5回には名手小浜の悪送球で更に失点。5回で4点を追うビハイランドでベンチにも敗戦ムードが漂う中、7番上原がツーランホームランで追いつきの雰囲気を作り、相手ミスで1点追加。続く1・3塁の場面で3番一場がライト頭上を超える走者一掃の3点タイムリーで逆転に成功。6回は1失点し、同点に追いつかれたが一打逆転の場面を同点止まりで一場が粘投。

その裏、先頭来須がヒットで出塁し2死3塁、9番田邊が値千金のセンター前ヒットで再度勝ち越し。ダメ押しは1番館石のツーランホームランでベンチの盛り上がりは最高潮となった。追いつき追い越されのシーソーゲームだったが最終回は一場がきっちり抑え入船鋼材を振り切った接戦を制した。

有難うございました。

▲館石のツーランHRでベンチは盛り上がる



▲チームを鼓舞するベテラン小浜

